

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 609 号	氏名	中村 康平
学位審査委員	主査 池田 通 教授 副査 林 善彦 教授 副査 筑波 隆幸 教授		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>間葉系幹細胞 (MSC) を用いた細胞シートの移植は、次世代の歯周再生療法として期待されているが、シートの剥離を起こさずに MSC をシート状に多層化させる適当な方法は未だ確立されていなかった。本研究は、ROCK 阻害剤 Y-27632 を用いて剥離を阻害し、分化能を有する多層性 MSC シートを初めて作製したものであり、その目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>まず、コンフルエントな MSC を Y-27632 添加もしくは非添加の TGF-β1、アスコルビン酸 2 リン酸、血清を含む多層化培地 (MFM) で培養し、細胞シートの剥離について比較した。次に、それぞれの条件の細胞増殖活性を総 DNA 量の計測と BrdU 取り込み試験を用いて解析した。さらに、Y-27632 含有 MFM で作製したシートの細胞が初代 MSC と似た性質を保持していることを、細胞表面マーカーの解析と分化実験を行なって証明し、結論を導くために多面的な解析を進めており、研究手法も妥当であると言える。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>Y-27632 添加もしくは非添加 MFM 両群の細胞シートを比較した剥離と細胞増殖との関係、さらに、シートを構成する細胞と初代 MSC の特性評価については、整合性のある結果が得られており、信憑性が高い。作製された細胞シートは多層性で含有細胞数が多く、分化能も有していることから、今後、歯周組織再生分野において有用と思われる。</p>			
<p>以上のように本論文は新たな歯周組織再生療法の開発に関する研究に貢献するところ大であり、審査委員は全員一致で博士 (歯学) の学位に値するものと判断した。</p>			